

聖徳大学短期大学部

発行 聖徳大学短期大学部
総合文化学科
住所 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550
TEL 047-365-1111 (大代表)
http://www.seitoku.jp/daigaku/gakka/sougoubunka.html

BISOCIE

Become Independent in Society (社会的自立)

2022年1月28日 NO.14-E-I
グループ名 南房総絵本制作
(図書館司書・IT コース)

主な内容 昔話の絵本制作

南房総市の昔話・民話の絵本制作

南房総市の子どものための郷土への関心や郷土愛の向上を促し、地域活性化に貢献していくことを目的として、昔話や民話の絵本化を企画しました。

南房総市との交流は平成29年度から始まり、平成29年度は7冊、平成30年度は8冊、令和元年度は9冊、令和2年度は8冊、合計32冊の絵本を制作してきました。

今年度は、「天狗の差し入れ」「天狗と餅」「峰塚の主」の3冊を制作しました。

現地での報告会は、平成29年度と平成30年度に実施し、制作した絵本による読み聞かせは平成30年度に実施しました。

絵本は、毎年、南房総市内の小学校や幼稚園・保育園などに寄贈しています。

さらに、一人でも多くのかたに、南房総市の昔話・民話を知ってもらいたいと考え、松戸市の岩瀬文化祭や聖徳祭でも絵本を展示、配布しています。(令和2・3年度の聖徳祭では、動画で絵本の紹介をしました。)



絵本制作の手順

- ① 絵本にしたい昔話を選ぶ
- ② 絵本の総ページ数や構成を決める
- ③ 文章を考える
- ④ 絵を描く
- ⑤ 解説をつける
- ⑥ 奥付や表紙・裏表紙を整えて完成

最初に、絵本にしたい昔話を選びますが①、南房総市在住の昔話研究者、生稲謹爾氏の著作『南房総市の昔話 第1集』(二〇一六年、NPO法人富浦エコミューズ研究会)や、南房総市のHP「市まつわる民話」を参考にしました。

表紙、裏表紙を含めて8ページに収まるように、構成を考えました②。

昔話の文章は、原話の雰囲気を変えずに、子どもにもわかりやすい表現を心がけ、読みやすいように漢字にフリガナを振りしました③。

時代考証をした上で、絵を描き④、パソコンなどで編集を行います。手描きの絵に色鉛筆やクレヨン、ペンで色をつけたり、スマホやパソコンのアプリを使って色を塗ったりするので、作品によって風合いが異なり、描いた人の個性や美意識が感じられる作品に仕上がっています。

最後に解説⑤や奥付⑥をつけて完成となります。解説では主に、言葉の意味や物語の時代背景、類似した昔話などを紹介しています。



色塗り



清書



下書き2



下書き1



いわポンフェスタの様子



過去の活動&今後の展開

今年度は絵本の制作を進めたほか、松戸市岩瀬自治会のイベント「いわぼんフェスタ」に参加させて頂いていただきました。いわぼんフェスタでは、これまで制作した絵本を展示し、絵本の説明をしたり、「岩瀬自治会との交流」グループの出し物のお手伝いをしたりしました。

来場された方々からは、「コロナ禍でこのような機会がなかったもので、とてもありがたかった」と嬉しいお声を聞くことが出来ました。

今後の活動予定としては、刊行になり次第、南房総市内の幼稚園、保育園、小学校などへ絵本を贈呈します。また、2月ごろにYouTubeでの読み聞かせを予定としています。